

## 2016年度CO<sub>2</sub>排出実績（速報値）について

2017年9月11日  
電気事業低炭素社会協議会

電気事業低炭素社会協議会（以下、協議会）は、このたび、2016年度の会員事業者のCO<sub>2</sub>排出実績（速報値※）をとりまとめました。

その結果、協議会全体における2016年度CO<sub>2</sub>排出量は4.31億t-CO<sub>2</sub>、CO<sub>2</sub>排出係数は0.516kg-CO<sub>2</sub>/kWh（いずれも調整後の値）となりました。

2015年度実績と比較して、排出量、排出係数ともに減少しております。

これは、再稼働による原子力発電電力量の増加に加え、最新鋭の高効率火力発電設備の導入や再生可能エネルギーの活用などに継続的に努めたことによるものです。

協議会では、引き続きPDCAサイクルを展開することで、目標達成に向けた取り組みの実効性を高めてまいります。

※ 現在、国による確認が行われており、今後、「地球温暖化対策の推進に関する法律」に基づき、国から公表されるCO<sub>2</sub>排出係数の実績により修正となる可能性があります。

### 【2015年度実績（いずれも調整後の値）】

CO<sub>2</sub>排出量：4.41億t-CO<sub>2</sub>  
CO<sub>2</sub>排出係数：0.531kg-CO<sub>2</sub>/kWh

【ご参考：電気事業低炭素社会協議会 会員事業者（9／11 時点）】

|     |   |
|-----|---|
| 会 員 | イーレックス(株)、出光グリーンパワー(株)、伊藤忠エネクス(株)、エネサーブ(株)、<br>(株)エネット、(株)エ・リューション・アンド・サービス、(株)F-Power、大阪ガス(株)、沖縄電力(株)<br>オリックス(株)、関西電力(株)、(株)関電エネルギーソリューション、九州電力(株)<br>(株)ケイ・オプティコム、(株)Kenes エネルギーサービス、サミットエナジー(株)<br>JXTG エネルギー(株)、四国電力(株)、シナネン(株)、昭和シェル石油(株)<br>新日鐵住金エンジニアリング(株)、ダイヤモンドパワー(株)、中国電力(株)、中部電力(株)<br>テス・エンジニアリング(株)、テプロカスタマーサービス(株)、電源開発(株)、東京ガス(株)<br>東京電力エナジーパートナー(株)、東京電力パワーグリッド(株)、東京電力フェュエル&パワー(株)<br>東京電力ホールディングス(株)、東北電力(株)、日本原子力発電(株)、日本テクノ(株)<br>プレミアムグリーンパワー(株)、北陸電力(株)、北海道電力(株)、丸紅(株)、丸紅新電力(株)<br>三井物産(株)、ミツウロコグリーンエネルギー(株) |
|-----|---|

以上42社

以 上